

【社会】

＜勉強^{べんきょう}すること＞

◆「くわしい地図^{ちず}を見てみると」（教科書^{きょうかしよ}10 ページ）の図先生の地図を見て分かることを、取組シートやノートに書こう。

- (1) 地図にある方位記号^{ほういきごう}（)を見て、教科書の上下左右が、それぞれどの方位（東、西、南、北）なのかをたしかめ、書きましょう。

※方位記号^{ほういきごう}について知りたい時は、地図帳^{ちずちよう}10 ページを見てみよう。

- (2) 地図記号をもとに、たて物や土地の様子^{ようす}について、分かることを 3 つ以上書きましょう。

※～が多い。～が～の近くに集まっている。～は○の方位にある。など

◆「地図のやくそく(2)」^{ちずちよう}（地図帳12 ページ）を見て、取組シートやノートにまとめよう。

- (1) つぎの場所の地図記号を調べて、書いてみよう。

①小学校・中学校 ②警察署^{けいさつしよ} ③消防署^{しょうぼうしよ} ④病院^{びょういん} ⑤郵便局^{ゆうびんきょく}

※その他の地図記号も書けたらすごいですね。

- (2) トライ！（地図帳 12 ページ）に取り組もう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆「くわしい地図を見てみると」

- ・お子さんが地図から見つけたことについて、どんなことでも大いに認めてあげてください。また、お時間があれば、「神社は^{おおほり}大濠公園から見てどの方位にあるのかな。」などと問いかけることで、地図を見て方位や特徴を捉えようとするようになり、子どもの地図の見方が広がります。

◆「地図のやくそく(2)」

- ・可能であれば、親子で地図記号をクイズにして答え合おうと、子どもは楽しみながら地図記号を覚えることができます。また、地図帳 P12 を見て地図記号の成り立ちを確認するのも効果的です。

※地図帳の P 9・11 に、QR コードがついています。閲覧が可能であれば、こちらも御活用ください。